

◆ 2016年 第13週(3/28~4/3)の感染症発生動向(届出数)

■全数把握感染症の発生状況

- 1類感染症 なし
  - 2類感染症 結核(高松 2件、東讃 1件)
  - 3類感染症 なし
  - 4類感染症 なし
  - 5類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(高松 1件)、  
クロイツフェルト・ヤコブ病(高松 1件)
- 修正第12週 5類感染症 0→2(高松 後天性免疫不全症候群 0→1、播種性クリプトコックス症 0→1)

感染症予防の基本は **手洗い**から  
調理時や食事の前、トイレの後は石けんと流水でしっかり手を洗いましょう。



■定点把握感染症の発生状況 ☆ 比較は定点あたりの人数による

- インフルエンザは流行警報終息基準値を下回ったが、再流行の可能性もありますので、引き続き注意(こまめな手洗い・咳エチケット等)をお願いします。
- 感染性胃腸炎に気をつけましょう。  
調理や食事の前、トイレの後など石けんと流水でこまめな手洗いをこころがけましょう。

2016年第13週の感染症発生動向調査による報告患者総数は674人で、前週(1,009人)の66.8%となった。

1. インフルエンザの報告は、県全体(14.4→7.3)で減少している。流行警報終息基準値(10人)を下回ったが、西讃地区(27.0→11.7)では流行警報レベルは継続しており、特に注意が必要である。
2. 感染性胃腸炎(ウイルス)の報告は、県全体(7.8→7.3)で減少している。小豆地区(17.0→17.0)は横ばいで流行警報が継続している。  
感染性胃腸炎(細菌)の報告は、県全体(0.4→0.4)で横ばいである。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告は、県全体(0.8→1.3)で増加している。

◆ 今週の上位疾患(小児科定点からの法定届出疾病)

疾患名	今週	前週	前週比	過去5週の平均	過去10年の平均	全県	高松市	小豆	東讃	中讃	西讃
① インフルエンザ	7.3人	14.4人	50.9%	27.4人	5.1人	○↘	○↘	○↘	○↘	○↘	◎↘
② 感染性胃腸炎(ウイルス)	7.3人	7.8人	94.0%	9.4人	7.8人	○↘	○↘	◎→	○↘	○↗	○↘
③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.3人	0.8人	163.6%	1.1人	1.0人	○↗	△↘	・	△↘	○↗	○↗
④ 感染性胃腸炎(細菌)	0.4人	0.4人	120.0%	0.3人	0.3人	△→	△↘	・	△↗	・↘	○↗
⑤ 流行性耳下腺炎	0.4人	0.3人	150.0%	0.3人	0.8人	△→	○↗	・	・↘	△↗	・

記号の説明 今週の流行状況: ◎流行(警報レベルに達している) ○やや流行 △散発 ・患者発生報告無し

前週との比較: ↑急増 ↗増加傾向 ↘減少傾向 ↓急減 →横ばい ・報告無し

◆ 病原微生物検出情報

細菌	検出方法	検出数	検体	検体採取日	地区	臨床診断名	備考
なし							

ウイルス	検出方法	検出数	検体	検体採取日	地区	臨床診断名	備考
Influenza virus B/Yamagata	リアルタイムPCR	1	咽頭	2016/3/23	高松市	インフルエンザB型	
Influenza virus B/Yamagata	リアルタイムPCR	1	咽頭	2016/3/25	高松市	インフルエンザB型	

◆ 気象週報 第13週の平均気温:14.3℃(過去の30年の平均気温:11.1℃)

平均湿度:68.6%

地区別報告状況

Table with columns for disease name (疾病名), reporting period (今週, 前週, 2週前, 3週前, 過去5週, 過去10年), and sub-regions (高松市, 小豆, 東讃, 中讃, 西讃). Rows include various infections like RSウイルス感染症, 咽頭結膜熱, etc.

各地区的流行状況

Color-coded legend: 流行警報地区 (pink), 流行注意地区 (yellow)

小豆地区の小児科定点が第10週より2定点→1定点に変更されました。
インフルエンザ定点が第10週より3定点→2定点に変更されました。

年齢別報告状況(人数)

Table with columns for age groups (-5か月, -11か月, 1歳, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10-14, 15-19, 20-, etc.) and total count (合計). Rows include diseases like RSウイルス感染症, インフルエンザ, etc.